

様式 2

平成23年度 安曇野市食育推進会議（第3回） 会議概要

1	審議会名	安曇野市食育推進会議（第3回）
2	日 時	平成24年3月5日 午後1時30分から午後3時00分まで
3	会 場	穂高健康支援センター
4	出席者	本郷会長、等々力副会長、中田委員、高橋委員、 阿部委員、高橋委員、小野委員、松下委員、 豊田委員、南沢委員、本郷委員
5	市側出席者	場々健康推進課長、奥村課長補佐、久保田保健師、青柳管理栄養士、 小穴係長、笠井歯科衛生士、牧瀬管理栄養士、小川管理栄養士、柴田栄養士 教育委員会学校給食課：白澤課長補佐 学校給食課：高橋係長 農政課：伊藤
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成22年6月30日
協 議 事 項 等		
1	会議の概要	
	(1) 開 会	
	(2) 会長あいさつ	
	協議事項	
	① 平成23年度食育推進事業進捗状況について	
	② 平成24年度食育推進事業（案）について	
	③ その他	
	(4) 閉会	
2	審議概要	
	① 平成22・23年度食育推進事業について	
	(会 長) それでは、協議事項の平成23年度食育推進事業進捗状況と言う事で、事務局お願いします。	
	(事務局) 平成23年度食育推進事業進捗状況の報告と平成24年度食育推進事業（案）報告についての説明	
	(会 長) 食育推進事業の進捗状況と推進状況（案）につきまして、説明がありましたが、まずは進捗状況につきまして、何かご意見ご質問ありましたら、お願いいたします。	
	まず、1ページから3ページ位までは、人の一生を妊娠期から乳幼児期・幼児期・学童期から成壮年期に分けてそれぞれの段階にあった事業を多岐にわたり、積極的に実施していると思います。	
	(委 員) 妊娠期の両親学級ですが、昨年度に比べ人数が減っていると思いますがなぜですか。	
	(事務局) 昨年までは、両親学級への参加のべ人数を掲載しておりましたが、第1回目の栄養の会に参加した方の人数を掲載しましたので、88名と言う事です。	
	(委 員) 88家族と言う事ですか。	
	(事務局) まれに、旦那さんの参加もありますが、88名の方の参加があったという事です。	
	(委 員) 4ページの24年度新規事業、安曇野ブランド推進室の市内事業者が考案したメニューにアドバイザーを設置するという事業はどのような事ですか？	
	(事務局) これにつきましては、ブランド推進室でもはっきりと決定しているわけではないようですが、豊田委員何かご存知でしょうか。	
	(委 員) 軽井沢プリンスホテルの料理長とか、木曾のほうの方とか何人か予定されているようですが、決定されてはいません。一応ブランド室の意向ではありますが、お店の各業者が簡単に受け入れるかは、疑問です。	
	(委 員) 前から、メニューに関して食塩の問題とか、アドバイスをしてくれる先生方に入っただけであればありがたいです。	
	(委 員) 栄養士の先生方とか、いれば問題はないと思いますが、各お店でアドバイスを受け入れるのは、難しいと思います。お客さんに言われた方が効果があるかもしれません。	
	(委 員) 3ページの市民農園についてですが、最近放射線の土壌汚染の問題がありますが、先日県より土地にセシウムの吸収を抑えるためにカリウムをストロンチウムを抑えるためにカルシウムを多く肥料をまくようにと指導が確かでした様ですが、食の安全を守るためにどのようにしていきますか。	
	(事務局) 担当課に確認いたします。	
	(会 長) 今、重要なご指摘もありましたので、熟慮していただきたい。その他にご質問ありますでしょうか。先ほど事務局より説明をしてほしいという8ページ以降をご覧ください。市内の生徒さんの血液検査	

のデータから健康診断の大人のデータまでです。8ページの小学生の発生率をご覧ください。肥満度と言うのが子どもではBMIのかわりになります。男子8.6%女子6.3%全体で7.6%の人が、軽度の肥満を入れて肥満している。大体県の平均的などころではないかと思えます。その次のページの中学生の方ですが、発生率を見ていただくと女子で肥満度が20%未満が8.5%と痩せている人が非常に多いという事で、例えば信大の医学部女子学生でしたら、BMIの痩せすぎが14.5%と女子学生にはやせ過ぎが多い。こういったように若い女性の痩せ志向が社会一般的にみられ、これが将来の健康に色々懸念されると言われております。それから脂質異常と言う事がありましたが、LDL/TG/HDLコレステロールの3つのうちどれか1つでも以上と言う事ですが、男子9.8%女子8.9%と長野県のいくつかの地域の平均とみますと若干高めと見られますので、この辺に対する取組、特に中性脂肪ですが原因は色々あると思えますが、肥満との関連とか、遺伝との関係など家族単位での取り組みが必要ではないかと思えます。

次に10ページの集団健診の有所見者状況ですが、血管を傷つけるとか生々しく書いてあります。人は血管から老いるとかいう言葉もあります。ヘモグロビンA1cとか血糖・尿酸・血圧とか書いてありますが、心臓や血管に対する危険因子の一つになってきます。安曇野市のヘモグロビンA1cの高い方が、82.1%とか83.1%とか衝撃的な値が書いてあります。松本市でみると大体50%位です。それでも高いですね、2人に1人が高いという事になります。なぜかという事ですが、厚生労働省の特定健診では血糖が100mg/dlを超えると問題とした時に、相当するヘモグロビンA1cは5.2と言うところからこの検査値は出てきています。長野県の方は検査値が高い事は間違いないです。この基準を基にした場合検査数値のみにとらわれることなく、高い方たちが何らかの動脈硬化に関する所見を持っているかどうか。例えば動脈硬化が進行して狭心症になったとか脳梗塞になったとか心筋梗塞になった方たちが高血糖・高血圧・脂質異常の所見を持っている方が多いのかどうか、また煙草を吸っている方が多いのかどうか、沢山のリスクが加算されると発症のリスクが上がってくるという事が、メタボリックシンドロームの考え方ですが、1つの検査値の数値のみにとられず、血糖が高いのか血圧が高いのか、煙草も合わせ総合的に考えていきたいと思います。現在糖尿病のA1cについては、患者さんを診る場合には5.8までは正常なのです。それを超えてくると高いとなります。病気の人にはそのように言っていますが、一見健康に見えても、家族歴に糖尿病のある方は、リスクが高いのでそのような方たちを集団的に指導していく場面を設けていただくとよろしいのではないかと思います。数日前の新聞で長野県は、年齢調整死亡率が全国で一番低いと、非常に嬉しい事ですが、安曇野市の健康福祉部の方を含めて、色々な病院の取り組みが功を奏して、医療費も低く、全国で最も死亡率が低く暮らしやすい県の方に入っているのではないのでしょうか。そういった方たちの努力の結果が表れてきているのではと思います。この数値は数値として、どうしたら良いかを前向きに考えていく事が長野県、安曇野市の健康の推進につながるのではと思っておりますので、よろしく願います。細かいところは色々ございますが、皆さんで良い方向へ取り組んでいただければと思います。それでは、今自分の勝手な考えをお話いたしました、他の皆さままで何かご意見、ご質問ある方はいらっしゃいますか。

(委員) 今のヘモグロビンA1cの話ですが、一般の医療機関の基準値が4月から+0.4、特定健診では1年間の猶予があると聞きましたが、指針ができれば話は変わってくると思えますが、+0.4になった段階で保健指導や緊急訪問の基準は変わりますか。

(事務局) 変える予定です。

(委員) +0.4と言う事ですね。

(事務局) はいそうです。

(会長) よろしいでしょうか、ヘモグロビンA1cについては糖尿病学会の中で検討中ですが、日本の基準と海外の基準に0.4の差があります。ご専門の方はわかると思えますが、まだ動いているところなので、今後健康推進課の方で考えていただければと思います。これは、全国でそのような方向になります。脂質についても動脈硬化学会で色々な基準を出していますが、まだ動いている状態で解っていない問題点も沢山ありますが、新しい事がありましたら、随時お話をしていきたいと思えます。

②その他

(会長) それでは、その他にうつりたいと思えますが、事務局から何かありますか。

(事務局) 第2次食育推進基本計画についての説明

(会長) ありがとうございます。ただ今事務局より国の第2次食育推進基本計画について決定されたご説明がありましたが、ご質問ご意見等ありましたら、お願いしたいと思えますが、いかがでしょうか。

(会長) よろしいでしょうか、こういった事を核にして事業を進めていくという事でよろしく願います。それでは、事務局お願いいたします。

(事務局) 皆さんありがとうございます。この3月31日で2年間の任期が満了となります。2年間大変ありがとうございました。3月の広報で、公募委員も若干募集いたしまして、来年度新たなスタートを切るつもりです。もう一期お願いする委員さんもいらっしゃいますので、ご協力お願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に企画財政部まちづくり推進課へ提出してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。